

## 「なぜ日本では女性の社会進出が遅れているのか」

日本は世界と比べたときに、圧倒的に男女の格差が大きいとされている。この問題を元になぜ日本では女性が社会で活躍することが難しいのかについての研究を行った。今まで女性の活躍が進んでいないというデータや問いはあるにもかかわらず改善が進まない理由を、海外との比較や、日本の育児休業の制度、また女性が活躍することに対しての世の中の意識変化の重要性に分けて考えた。この結果海外では女性が活躍するために制度を作り、それが成功していることが分かった。また育児休業は、日本では取得できるが取得がしにくい空気が出てしまっている。育児休業を取得することは新たなアイデンティティの形成に繋がる。また育児後に仕事に戻りやすい環境を今以上に整える必要があることが分かった。最後に女性の活躍が増えることでさらに女性が活躍できる社会に繋がっていくであろうと考えられる。日本では海外のような制度を作ることは難しいと思うが、意識や考え方を变えることはできるだろう。女性が活躍できるように少しずつでも改善をすることで、今後の大きな変化に繋がり、男女平等の社会になるのではないだろうかと考えた。